

ヴォルフ=フェッラーリ《四人の頑固者》初版楽譜(水谷彰良コレクションより)

《四人の頑固者 (*I Quattro Rusteghi*)》 3幕のコンメーディア・ムジカーレ
(Commedia musicale in tre atti)

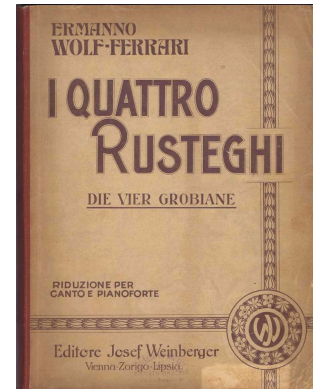
台本：ジュゼッペ・ピッツォラート (Giuseppe Pizzolato,?-?)

原作：カルロ・ゴルドーニ (Carlo Goldoni,1707-93) の喜劇《頑固者たち (*I rusteghi*)》(1760年謝肉祭ヴェネツィア初演)。

作曲：エルマンノ・ヴォルフ=フェッラーリ (Ermanno Wolf-Ferrari,1876-1948)

初演：1906年3月19日、ミュンヘン、宮廷劇場 (Hoftheater)

註：ヘルマン・タイブラー (Hermann Teibler,1865-1906) 訳のドイツ語版《Die vier Grobiane》による初演。オリジナル・イタリア語版の初演は、1914年6月2日にミラーノのテアトロ・リーリコで行われた。



メモ

ヴェネツィア生まれのヴォルフ=フェッラーリはドイツ人画家の息子としてヴェネツィアに生まれ、ミュンヘン音楽アカデミーで学んだ。最初の歌劇《チェネレントラ Cenerentola》(1900年) はリコルディ社に出版を拒否されたが、ミュンヘンでの改作上演が成功を収め、活動の場をドイツ圏に移した。そして同地で初演した《好奇心の強い女たち》に続いて発表したのが、ゴルドーニ原作による第二弾《四人の頑固者》である。この題材は《好奇心の強い女たち》の台本作家ルイジ・スガーナ (Luigi Sugana,1857-1904) によって提案されたが、その死によりジュゼッペ・ピッツォラートが台本をまとめた。初演はミュンヘンでドイツ語版によって行われ、ヴェネツィアの香り豊かな音楽で人気を博し、ヴォルフ=フェッラーリの代表作となった。

初版楽譜

初版楽譜(ピアノ伴奏譜) ライプツィヒ、ヨーゼフ・ヴァインベルガー社、1905年 プレート番号:J.W.1450.

Spartito riduzione per canto e piano, Josef Weinberger, Leipzig, 1905. [First edition]

* 1 vocal score ([4],291 [5-291] p.); 30.5 cm, N. di lastra: J.W.1450. [Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

タイトル頁記載:

I Quattro Rusteghi / Die vier Grobiane / Commedia musicale in tre atti / Musikalisches Lustspiel in drei Aufzügen / Versi di / Von / Giuseppe Pizzolato / dalla commedia di Carlo Goldoni ; Deutsch von Hermann Teibler / Musica di / Musik von / Ermanno Wolf-Ferrari / riduzione per Canto e Pianoforte / con versione italiana e tedesca / [...] Proprietà dell'Editore / JOSEF WEINBERGER / VIENNA – ZORIGO – LIPSIA / Copyright 1905 by Josef Weinberger, Lipsia

初版楽譜の概要

ヴォルフ=フェッラーリ《四人の頑固者》の初版楽譜は、1905年にライプツィヒのヨーゼフ・ヴァインベルガー社 (Josef Weinberger) の刊行したピアノ伴奏譜である。初演がミュンヘンでドイツ語版によって行われたため、ヴァインベルガー社の初版楽譜もドイツ語をメインにした外表紙とタイトル頁を持つ版と、イタリア語をメインにした外表紙とタイトル頁による版の2種がある(他の部分はすべて共通で異同は無い。表記はドイツ語を優先し、歌詞もドイツ語にオリジナルのイタリア語を併記)。

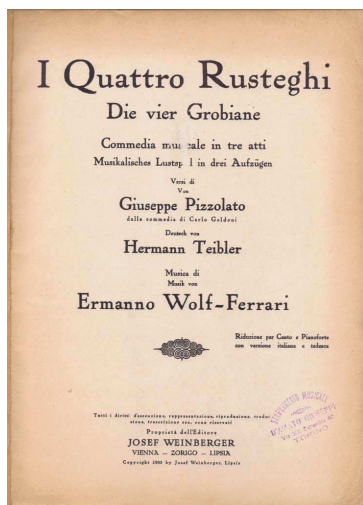
筆者所蔵はイタリア語がメインの版で、背の補修によりオリジナルの外表紙が貼り直され、サイズは30.5×23 cm。プレート番号: J.W.1450。楽譜に先立つ4頁は、[1]:タイトル頁 [2]:人物表(基本的にドイツ語で記載) [3]:献辞 (Al Conte / Filippo Grimani / Sindaco di Venezia / con animo grato. / E. Wolf-Ferrari) [4]:無地である。楽曲目次はなく、全291頁(p.5-291)の楽譜は、前奏曲(pp.5-6)、第1幕(pp.7-116)、インテルメッツァ(pp.117-119)、第2幕(pp.120-233)、第3幕(pp.234-291)からなる。テキストはドイツ語にイタリア語を併記し、ヴァインベルガー社の常で造本もデザインもそっけない。なお、ドイツ語版のタイトル頁記載は次のとおり——「Die vier Grobiane / Musikalisches Lustspiel in 3 Aufzügen / von / GIUSEPPE PIZZOLATO / Deutsch von / HERMANN TEIBLER / Musik von /

ERMANNO WOLF-FERRARI [以下略]。1934 年版との異同については後述する。

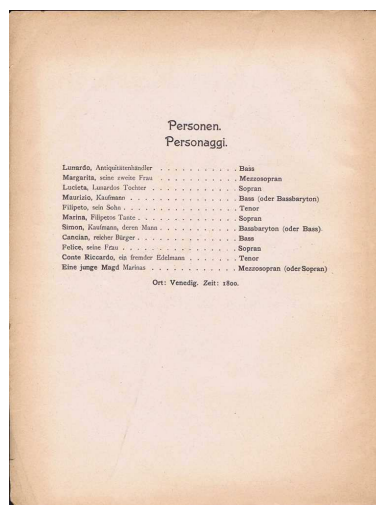
《四人の頑固者》初版楽譜(1905 年。ライプツィヒほか、ヨーゼフ・ヴァインベルガー社。筆者コレクション)



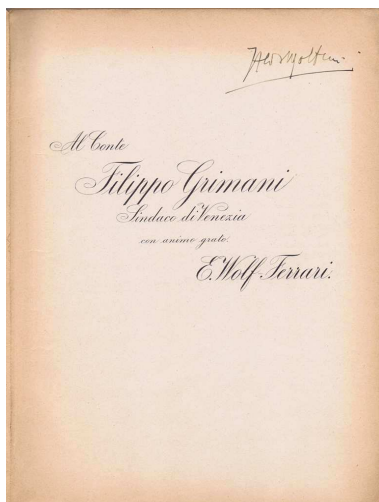
オリジナルの外表紙(貼り直し)



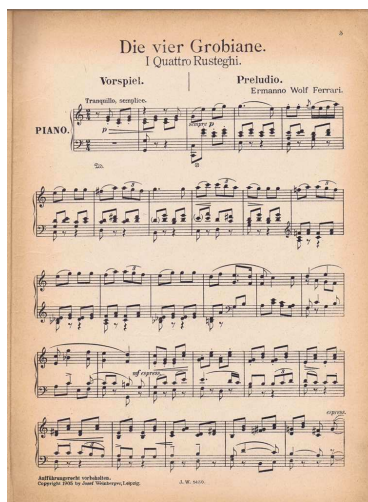
[1] タイトル頁



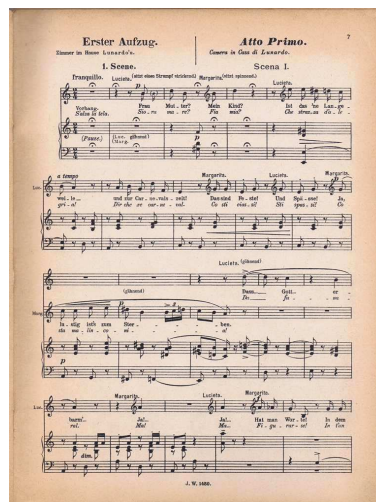
[2] 人物表



[3] 序曲の冒頭頁(p.3)



前奏曲の冒頭頁(p.5)



第 1 幕の冒頭頁(p.7)

初版と 1934 年版の異同について

筆者が現時点で内容を確認できるヴァインベルガー社の後版は、ネット上の IMSLP (パトルッチ楽譜ライブラリー) に複製されたエディションである (タイトル頁と楽譜冒頭頁に 1934 年と明記。以下、1934 年版と記す)。これは不詳の人物がアップし、外表紙が複製されず、プレート番号も抹消されているので確かなことは判らないが、ヴァインベルガー社の住所が「ヴィーン、ロンドン、フランクフルト」であることから、1950 年代以降のエディションの違法複製と思われる (現行版の違法複製の可能性もある)。

けれどもこれが 1934 年の改版に起因するエディションであるのは明白で、異同をチェックする必要がある。筆者の見るところ、タイトル頁の記載変更、人物表の頁への目次の追加、前奏曲の冒頭頁下部クレジット記載の異同とは別に、第 1 幕最終頁 (p.116) 最後の 5 小節におけるカット (削除) の選択肢を示す「Vi=」とこれに関する注釈が追加されている (カットの終わり「=de.」は続くインテルメッツの冒頭に追加)。これは第 1 幕を後奏で終止せず、カンチャン役の朗読の終わりから即座にインテルメッツに移行することも可能であることを表している。その部分を、1905 年の初版と 1934 年版から複製しておく (次頁)。

初版楽譜の第1幕最終頁
(p.116)最下段

1934年版第1幕最終頁
(p.116)最下段

追加されたカット開始を示す指示→ $\Rightarrow V_1 =$ (verschwindet unter der Wäsche)

追加された注釈→

*) Man kann gleich das Intermezzo anschließen, indem man die letzten 5 Takte überspringt.
*) Si può attaccare qui l'Intermezzo saltando le ultime 5 battute.

[Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

(2014年9月作成。水谷彰良)